





# 令和4年度 第46回 岩沢保育園卒園式



3月25日(土)例年より早い雪解けの中、第46回岩沢保育園卒園式が開催された。今年度の卒園式は新型コロナウイルスの感染が下がったことから園児や先生方はマスクの着用無しで参加。久しぶりにお互いの顔の見える式典となり、卒園児12名は皆元気に



く保育証書を受け取った。なお、2年間岩沢保育園の園長を務めた廣井園長は南保育園に移動となり最後の卒園式となった。



## 岩沢福祉社会監査&役員会

3月24日(金)令和4年度の岩沢福祉社会監査が諏訪部栄一会長の立会いの下、高橋清和・大淵好一両民生委員により行われた。収入は社会福祉協議会補助金や各種寄付金等を入れて371,884円、支出は買い物バスの燃料費や民生委員が高齢者見回りで配ったタオル等で191,546円となり令和5年度に180,338円の繰越となった。監査に合わせ、役員会を開催。令和5年度の事業計画も検討され、来年度も諏訪部鐵工所から寄付金の申し出と買い物バスの試験運行の継続や福祉講座の開催、民生委員による地域の声かけなどの事業を進めていくこととなった。



## 編集後記

令和5年度がスタートし私は引き続き岩沢を担当させていたくこととなりました。よろしくお願いたします。さて、先日この岩沢通信を書く時に少しでも役に立てばと思い、小千谷新聞の記者の主催するライター養成講座に参加してきました。参加者は4名と少ないのですが、少ないが故に濃密な時間となりました。その中で講師曰く「誰よりもライターになれます。それは好奇心を持って何でも書く。そして調べる／整理する／予測する」なかなか簡単そうではないことだ。私が一番驚きハッとしたのは「広報や新聞などに使う写真はカメラ目線の物はカット」という一言でした。なるほど、いつも親御さんに遠慮して子どもたちを脇から撮っていたのは正解だったのです。さてさて、今月号は岩沢保育園の卒園式を記事にし、そして来月は「にゅうえん、しんきゅうのつどい」を掲載する予定です。成果は出ていますでしょうか。……(I)